

知の市場奨励賞の選考経緯と  
選考結果

1. 奨励賞の選考経緯

(1) 受賞候補者の推薦と選考

1) 第一区分の受賞候補者（受講者が対象）

① 規定第5条に基づいて協議会委員全員に受賞候補者の推薦を依頼したが、今回、推薦はなかった。

2) 第二区分の受賞候補者（講師・連携機関・開講機関他の個人・団体が対象）

① 規定第6条に基づいて、2004年度から2014年度の間の子目の開講実績など社会における人材育成及び教養教育の発展や知の市場の発展に資する活動の実績の調査を行うとともに、2015年度以降の活動の展開の可能性について検証を行った。

② その結果抽出された講師1名について、規定に則り、2014年12月5日に開催された第12回知の市場協議会において受賞候補者の選考を行った上で、同じく12月5日に開催された第9回知の市場評価委員会において確認した。

2. 意向の確認と受講者の決定

(1) 候補者の意向の確認

知の市場会長が、規定第7条に基づき、受賞候補者である講師1名に対して受賞を受諾する旨の意向を確認するとともに2015年2月12日に開催する第6回年次大会において行う奨励賞伝達式への出席についても確認した。その結果、受賞を受諾する旨の回答があった。

(2) 受賞者の決定

受賞候補者の意向確認の結果を踏まえ、知の市場会長は、規定第8条に基づき、次の1名の講師を受賞者として決定した。

1) 第二区分の個人

受賞者	推薦理由
武田 繁夫 (たけだ・しげお)	2004年度から化学物質管理や労働科学に関する科目の中で、化学物質管理の意義や仕組みなどに関する講義をいくつかの拠点において展開し、また2014年度からは連携機関として労働衛生管理に関する科目を新規に開講しており、今後とも人材育成と教養教育の発展及び知の市場の発展に資することが期待される。

## 奨励賞の授与に関する規定

2010年12月2日制定

2011年12月1日改正

2012年12月6日改正

2013年12月5日改正

2014年6月5日改正

### 1. 総則

知の市場奨励賞及びその授与についてはこの規定の定めるところによる。

### 2. 目的

本賞は、知の市場における自己研鑽及びその成果を活用する活動を奨励するとともに、人材育成または教養教育の発展及び知の市場の発展に資する活動を奨励することを目的とする。

### 3. 対象

本賞は、前項の目的に貢献した受講者、講師、連携機関、開講機関及びその他の個人または団体を対象とする。

### 4. 賞の授与

本賞は、知の市場会長（以下「会長」という。）が賞状を受賞者に授与する。

なお、会長が特に認めた場合には副賞を贈呈することができる。

### 5. 候補者の推薦

協議会における選考の審議に先立ち、受講修了者、講師、知の市場の協議会委員、評価委員、有志学生実行委員、連携学会の理事及び監事その他知の市場の活動に関わる者は、会長に対して受賞候補者の推薦を行うことができる。

なお、受講修了者については、会長に対して直接、もしくは、連携機関または開講機関経由で自薦または他薦することができる。

### 6. 受賞者の選考

協議会は、開講した科目の開講実績、受講した科目における成績及びその成果の活用実績、社会における人材育成及び教養教育の発展並びに知の市場の発展に資する活動実績などを考慮した上で受賞内定者を選考し、評価委員会がこれを確認する。

なお、所属する組織の業務として講義を実施する講師が受賞候補者となる場合には、当該組織に対して本賞を授与し、個人に対しては本賞を授与しない。

### 7. 意向の確認

会長は、開講機関や連携機関などの協力を得て、受賞内定者に対して受賞を受諾し年次大会に出席する旨の意向の確認を行う。

## 8. 受賞者の決定

受賞者の決定は、会長が受賞内定者の中から行う。

## 9. 名義

本賞の名義は知の市場会長名とする。ただし、開講機関または連携機関の推薦を受けた受賞者については、当該機関の長との連名とする。

## 10. 賞の名称

本賞の日本語名は「知の市場奨励賞( 年度)」、英語名は「Award for Encouragement : Free Market of ・by ・for Wisdom ( (year) )」とする。

なお、賞の名称に、受賞理由に応じた名称を付加することができる。